



# 俺と猫とサー フィン



book-fukunokami

## 俺と猫とサーフィン

---

「俺もサーフィンをするんだ。」

俺は猫の前で叫んだ。

猫は、ニャー、と鳴いた。

俺は猫に向かって、ワンワン、と吠えた。

「ニャワン、ニャワン」

猫は鳴いた。

「何、ニャワン、と鳴く猫なのか」

「そうだ、ニャワン」

おや、おじいさんの声だ。

「おじいさんじゃないぞ、猫だ」

自分で、おじいさんじゃないよ、と言ってるよ。

「おじいさんじゃないよ」

俺は曲がり角の所へ行き曲がり角を曲がってみた。

おじいさんがいた。

「ばれたかい、わしじゃわし」

そこで俺はサーフィンの真似をした。

「ナイスサーフィン」

おじいさんがほめてくれた。